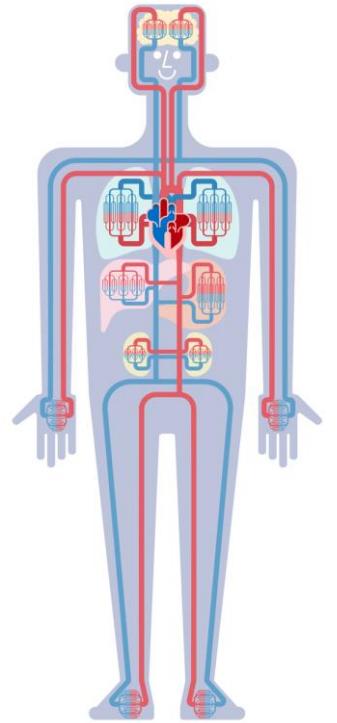


## 出血時の対応

### ◆血液とは

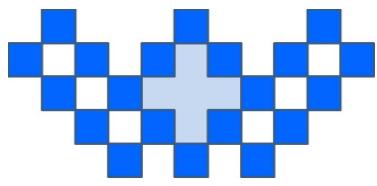
血液は、酸素や栄養を運んだり病原菌から守ったりと重要な役割を持っています。成人の血液量は**体重の約1/13~1/14**と言われており、60kgの方で約5lの血液がからだを巡っています。



### ◆出血量

ケガをして出血をした場合、どの部位をどのくらいの深さで傷つけたかによって出血の度合いは変わります。特に心臓からの血液を全身に送るはたらきをしている**動脈**を傷つけた場合には出血量が多くなるため注意が必要です。出血が**全血液量の1/3を越えると生命の危機**があります。出来るだけ早く、適切に、止血(しけつ)をしましょう。

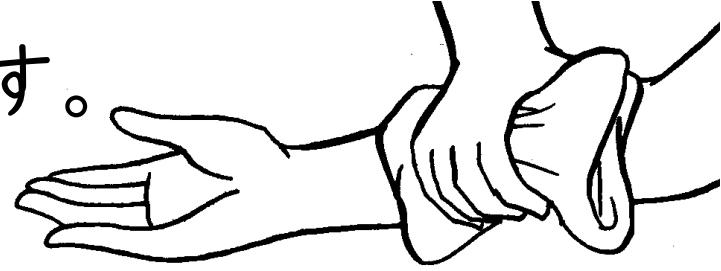
※大量出血をしている場合や意識状態が悪い場合はすぐに救急車(119番)を呼びましょう。



## 出血時の対応

### ◆止血の方法

最も重要な方法は**圧迫止血法**です。



- 傷口の**直上**から、きれいなタオルやガーゼなどを当て、指や手のひらで強く圧迫しましょう。
- 片手で出血が止まらない場合は**両手で体重をかけて**圧迫します。
- 圧迫しても出血が止まらない時は、圧迫が足りないか、圧迫部位が**出血部位からずれている**可能性があります。
- 感染防止のため、できるだけ手袋やビニール袋を使いましょう。

### ◆出血したときの注意点

大量な出血ではなかったとしても、ケガの状態によっては**感染症のリスク**や、**キズが綺麗に治らない**可能性もあります。キズは水道水で洗って、ガーゼなどを当てた状態で医療機関を受診しましょう。